

民族舞踊の分析方法の研究

キーワード: ダンスとコンピュータ Labanotation 舞踊人類学 MotionCapture

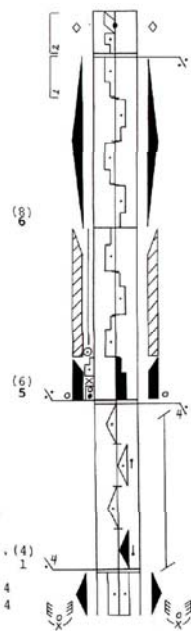
人間文化創成科学研究科文化科学系 専門分野: 民族舞踊学 中村美奈子

E-mail: nakamura.minako@ocha.ac.jp

URL: <http://buyou1.li.ocha.ac.jp/Nakamura/index.html> TEL:03-5978-5269

舞踊を「身体文化」ととらえ、舞踊記譜法(Labanotation)を用いて民族舞踊の舞踊動作と舞踊構造の分析を人文学とコンピュータサイエンスの両面から行っています。

舞踊記譜法LabanotationをXML化してみました(2007年)



```
<laban>
<attribute>
<time>
<beat>4</beat>
<beat-type>4</beat-
type>
</time>
</attribute>
<notation>
<measure num="0">
<relationship
type="grasp">
<left>
<hand>
<bodypart>hand</bodyp
art>
</hand>
</left>
```

身体運動の記述法として、ロボティクスの専門家も注目しています

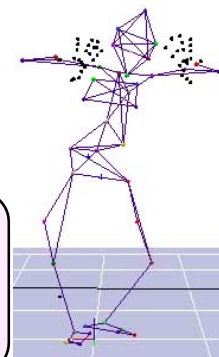
日本の民俗芸能のMotionCapture計測を比較日本学シンポジウムにてデモ(2005年)



リアルタイムで手前の踊り手の動きを後ろの画面に映しています。でも、お茶大にはまだMotion Captureはありません(2009年現在)

専門はバリダンスです。実技も教えています。

オレグタムリリンガンというミツバチの踊りを実演している写真です



バリ舞踊の指の動きも計測します